

第2次 八千代市公共下水道事業経営戦略 実施計画

令和7年度版

(令和7年度～令和11年度)

令和7年3月

八千代市上下水道局

目 次

I 実施計画の策定趣旨について

(1) 策定趣旨	1
(2) 進行管理	1

II 公共下水道事業 実施計画

(1) 基本方針と取組・施策体系	2
(2) 変更・追加を行った取組項目	3
(3) 実施計画（取組内容）	
1 公共下水道事業の運営基盤の向上	4
2 汚水の適正な処理	8
3 浸水対策の強化	11
(4) 業務量の見通し	14
(5) 財政収支の見通し（投資・財政計画）	14

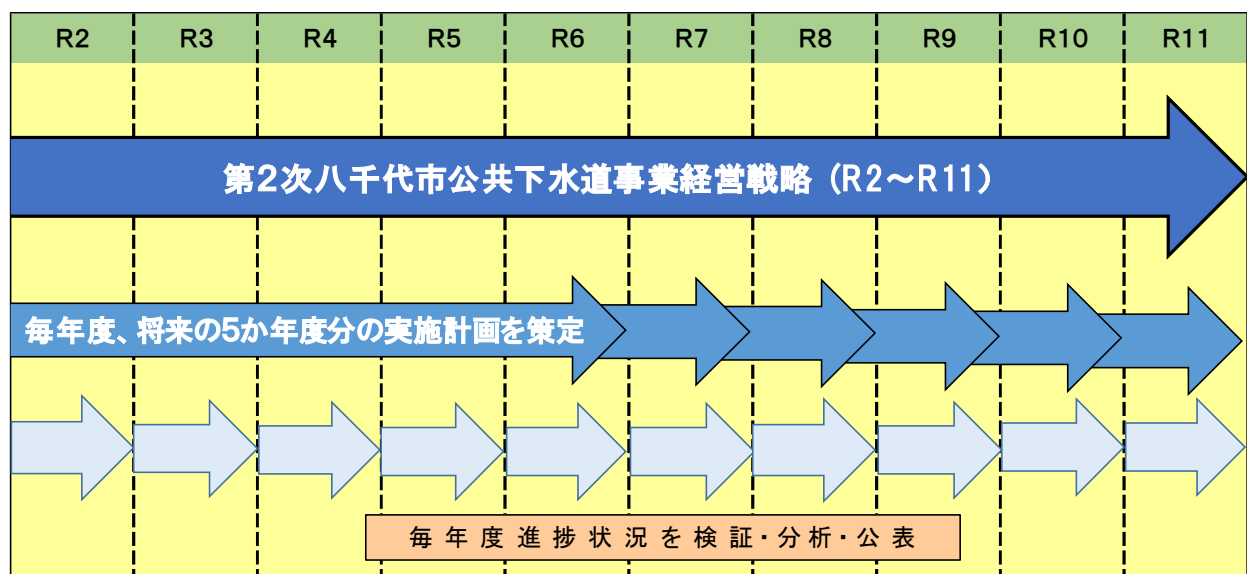
I 実施計画の策定趣旨について

(1) 策定趣旨

上下水道事業を取り巻く環境が厳しい中で、健全かつ安定的な事業運営を継続するために、今後の課題に向けた基本方針や取組みを示した「八千代市上下水道事業経営戦略（平成 28 年 3 月策定）」を見直し、新たに計画期間を令和 2 年度から令和 11 年度の 10 年間とする「第 2 次八千代市公共下水道事業経営戦略」（以下「経営戦略」という。）を策定しました。

経営戦略に掲げた基本方針に基づく事業や取組みを確実に実行し、進行管理を行っていくために、年度ごとの取組内容や活動指標などを示した将来の 5 か年度の実施計画を策定することとしており、本計画は令和 7 年度から令和 11 年度における実施計画です。

なお、本書は、令和 6 年 3 月に策定した実施計画（令和 6 年度版）を基に、これまでの進捗状況や今後の事業計画等を踏まえ見直しを行い、実施計画（令和 7 年度版）として策定したものです。



(2) 進行管理

本計画における取組・施策の実施状況について、毎年度、検証・分析を行い、進行状況をホームページなどで公表していきます。

Ⅱ 公共下水道事業 実施計画

(1) 基本方針と取組・施策体系

基本方針	取組・施策名
1 公共下水道事業の運営基盤の向上	①下水道施設の計画的・効率的な管理
	②定員管理の適正化
	③民間資金・ノウハウの活用を検討
	④広域化・共同化を検討
	⑤適正な資金管理
	⑥下水道使用料の検証・検討
	⑦災害復旧体制の強化
	⑧公共下水道事業の広報
2 汚水の適正な処理	①汚水施設の整備拡充
	②汚水施設の維持管理
	③水質規制の指導・監督
	④未接続の解消
3 浸水対策の強化	①雨水施設の整備拡充
	②雨水施設の維持管理
	③雨水流出抑制策の推進
	④浸水被害の抑制

(2) 変更・追加を行った取組項目

「第2次八千代市公共下水道事業経営戦略 実施計画（令和6年度版）」における令和7年度から令和10年度の取組項目の計画変更を行った項目は、**＝** 枠で囲んで表示しています。

取組・施策名	取組項目	変更・追加	頁
1-① 下水道施設の計画的・効率的な管理	ストックマネジメント計画に基づく改築（管路施設）	変更	4
	ストックマネジメント計画の策定	変更	4
	期中における資金管理の徹底	変更	6
3-① 雨水施設の整備拡充	大和田地区（八千代台北）雨水排水整備	変更	11
3-② 雨水施設の維持管理	調整池の維持管理	変更	12
※(4)業務量の見通し，(5)財政収支の見通しについても，修正しています。			14

※本実施計画において，新たに取組を追加した項目はありません。

(3) 実施計画（取組内容）

1 公共下水道事業の運営基盤の向上

1-① 下水道施設の計画的・効率的な管理						
取組の目的・内容						
永続的に安定的なサービスを持続させるために、下水道施設の現状を分析するとともに、今後、標準耐用年数 50 年を超過する下水道施設が増加してくることから、将来の更新需要を的確に把握し、長期的な視点から施設を管理していきます。 ・令和元年度に策定した「八千代市下水道ストックマネジメント※計画」に基づき、下水道施設の改築を進めていきます。						
年度別実施計画						
取組項目		令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度
ストック マネジ メント計 画に 基づく 改築（管 路施設）	変更前		・改築実施設計 ・点検、調査	・工事（八千代台地区他汚水管渠・地区未定雨水管渠） ・点検、調査	・点検、調査 ・工事（地区未定汚水管渠・地区未定雨水管渠）	
	変更後	・改築実施設計	・改築実施設計 ・点検、調査 ・工事（八千代台地区他汚水管渠）	・工事（八千代台地区他汚水管渠・地区未定雨水管渠） ・点検、調査	・点検、調査 ・工事（地区未定汚水管渠・地区未定雨水管渠）	・点検、調査 ・工事（地区未定汚水管渠・地区未定雨水管渠）
（変更事由） 令和 7 年度、8 年度の取組内容の変更 令和 8 年度に計画していた改築実施設計業務の一部を補助金の要件に合わせて令和 7 年度に先行して実施し、令和 8 年度に工事を実施することとしました。						
ストックマネジメント計画に基づく改築（ポンプ場施設）			実施設計（村上第2汚水中継ポンプ場）	工事（村上第2汚水中継ポンプ場）	工事（村上第2汚水中継ポンプ場）	・工事（村上第2汚水中継ポンプ場） ・調査（北部汚水中継ポンプ場）
ストック マネジ メント計 画の 策定	変更前					
	変更後	計画策定				計画策定
（変更事由） 令和 7 年度の取組内容の変更 対象施設であるポンプ場のポンプ修繕工事の遅れにより計画の策定期間を令和 6 年度から令和 7 年度に変更しました。						

※ストックマネジメント… 長期的な視点で施設全体の今後の老朽化の進展状況を考慮し、リスク評価等による優先順位付けを行った上で、施設の点検・調査、修繕・改築等を実施し、施設管理を最適化すること。

1-② 定員管理の適正化

取組の目的・内容

事業の推進に必要かつ適正な人員配置を図るため、令和4年度に策定した定員管理計画を基に、職員課に要望していきます。

年度別実施計画

取組項目	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
定員管理計画の推進	推進	推進	推進	推進	推進

1-③ 民間資金・ノウハウの活用の検討

取組の目的・内容

民間委託などの手法の活用が可能である事務事業については、導入を検討し、事務の効率化や事業費の縮減を図り、安定的なサービスを継続します。

- ・委託可能な業務の調査・検討を行います。
- ・既に集約化した業務以外で集約化が可能な業務について調査・検討を行います。
- ・官民連携手法の先進事例などの調査・研究を行います。

年度別実施計画

取組項目	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
委託の拡大等の検討	・仕様・発注方法の 検討 ・委託業務の発注	仕様・発注方法の 検討	仕様・発注方法の 検討	仕様・発注方法の 検討	仕様・発注方法の 検討
先進事例の調査・研究	調査・研究	調査・研究	調査・研究	調査・研究	調査・研究

1-④ 広域化・共同化の検討

取組の目的・内容

本市は、千葉県が管理する印旛沼流域下水道の終末処理場において、他の事業体と共同で污水处理を行っています。污水处理の広域化・共同化について、千葉県が主体となり、千葉県及び県内全市町村で構成される勉強会を開催しながら検討を進め、令和4年度に千葉県污水处理広域化・共同化計画が策定されました。本市では、下水道施設の維持管理業務などを主なメニューとして、取組を行っていきます。

年度別実施計画

取組項目	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
広域化・共同化計画 策定	計画に基づく広域 化・共同化作業	計画に基づく広域 化・共同化作業	計画に基づく広域 化・共同化作業	計画に基づく広域 化・共同化作業	計画に基づく広域 化・共同化作業

1-⑤ 適正な資金管理

取組の目的・内容

今後増加する老朽施設の改修に多額の事業費を要することが見込まれるため、適正な資金管理による収入の確保と支出の抑制を図ります。

・期中の資金管理については、上下水道局内の情報共有などにより、事業の執行状況を把握することで、資金管理を徹底し、定期預貯金及び有価証券による利息の獲得と、企業債の借入に係る償還年数及び金利方式の検討等を行いながら、支払利息の低減を図ります。

年度別実施計画

取組項目		令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度
期中における資金 管理の 徹底	変更前	・定期預貯金の利息の獲得 ・企業債利息の低減	・定期預貯金の利息の獲得 ・企業債利息の低減	・定期預貯金の利息の獲得 ・企業債利息の低減	・定期預貯金の利息の獲得 ・企業債利息の低減	
	変更後	・定期預貯金の利息の獲得 ・企業債利息の低減	・定期預貯金及び有価証券利息の獲得 ・企業債利息の低減	・定期預貯金及び有価証券利息の獲得 ・企業債利息の低減	・定期預貯金及び有価証券利息の獲得 ・企業債利息の低減	・定期預貯金及び有価証券利息の獲得 ・企業債利息の低減
（変更事由） 令和 8 年度, 9 年度, 10 年度の取組内容の変更 令和 7 年度から有価証券による資金運用を予定しており、令和 8 年度から利息獲得が見込まれるため、変更しました。						

1-⑥ 下水道使用料の検証・検討

取組の目的・内容

平成 27 年 7 月に平均改定率 5.27%の使用料の見直し(改定)を行い、経営状況の改善を図りました。平成 27 年度以降は黒字を維持してきましたが、流域下水道維持管理費負担金の令和7年度以降の増額改定や物価上昇に伴い、赤字に転じる見込みです。しかしながら、ストックマネジメント計画関連事業の進捗状況によっては、汚水建設改良費の執行額に変動が見込まれるものの企業債残高を削減しつつ手持ちの資金である内部留保資金を確保できる見通しであることに加え、赤字の規模を考えると、直ちに経営に影響は出るようなことはないとの結論に達したことから、引き続き、収入状況や財務状況の検証を行い、適正な使用料水準の設定について確認・分析を行います。

年度別実施計画

取組項目	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度
汚水量・使用料収入・財務状況の確認・分析	確認・分析	確認・分析	確認・分析	確認・分析	確認・分析

1-⑦ 災害復旧体制の強化

取組の目的・内容

地震などの災害により被災した下水道施設の短期間での復旧を可能とするために制定する「下水道BCP（業務継続計画）※」により、復旧体制の強化を行います。

- ・下水道BCPによる被害想定に基づいた防災訓練を実施します。
- ・防災訓練で判明した問題点について対策を検討したうえで、下水道BCPの見直しを行っていきます。

年度別実施計画

取組項目	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
災害時を想定した訓練の実施	・上下水道局防災訓練の実施 ・八千代市災害対応訓練の実施	・上下水道局防災訓練の実施 ・八千代市災害対応訓練の実施	・上下水道局防災訓練の実施 ・八千代市災害対応訓練の実施	・上下水道局防災訓練の実施 ・八千代市災害対応訓練の実施	・上下水道局防災訓練の実施 ・八千代市災害対応訓練の実施
下水道BCPの運用	内容の精査	内容の精査	内容の精査	内容の精査	内容の精査

※BCP（業務継続計画）… 大規模な災害、事故、事件などで職員、庁舎、設備などに相当の被害を受けても、優先実施業務を中断させず、たとえ中断しても許容される時間内に復旧できるようにするため、策定・運用を行うもの。

1-⑧ 公共下水道事業の広報

取組の目的・内容

下水道は市民にとって最も身近なライフラインの一つであるため、各種計画の策定・実施状況、使用料に関することなどの重要事項の周知を行うとともに、下水道の重要性や適切な利用について広報を行います。

- ・「やちよ上下水道だより」により、写真やイラストなどを用い、内容が伝わりやすい広報を行います。

年度別実施計画

取組項目	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
やちよ上下水道だよりの発行	発行	発行	発行	発行	発行
発行回数	年2回	年2回	年2回	年2回	年2回

2 汚水の適正な処理

2-① 汚水施設の整備拡充

取組の目的・内容

本市においても、近い将来に人口減少が見込まれているため、下水道などの基盤整備と料金収入のバランスを考慮して、効率的な汚水処理施設の整備を図ります。

- ・宅地化された市街化区域に点在している未整備箇所等の整備を進めます。
- ・西八千代南部地区について、市街化区域編入に合わせた整備を検討していきます。
- ・工業団地についても、西八千代南部地区の整備概成後、下流に位置する印旛沼等の水質や、団地内企業のニーズ及び費用対効果等を確認しながら、整備を検討していきます。

年度別実施計画

取組項目	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度
未整備箇所の整備	汚水管渠築造工事	汚水管渠築造工事	汚水管渠築造工事	汚水管渠築造工事	・汚水管渠築造工事
次期整備箇所の検討	調査・検討	調査・検討	調査・検討	調査・検討	調査・検討

2-② 污水施設の維持管理

取組の目的・内容					
下水道施設の適切な維持管理により、施設の機能を確保します。 ・管渠やマンホールポンプの定期的な点検・清掃及び打音や目視調査の結果を踏まえて管渠等の修繕を行い、機能の保全を図ります。 ・污水管渠に地下水などが流入するいわゆる「不明水」を減らすため、区域ごとに人孔蓋穴への侵入水対策を行います。 ・老朽化する污水中継ポンプ場の機械設備については、修繕計画に基づいて修繕を行います。					
年度別実施計画					
取組項目	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度
管渠・マンホールポンプの維持管理	点検・清掃	点検・清掃	点検・清掃	点検・清掃	点検・清掃
管渠修繕箇所数	30 箇所	30 箇所	30 箇所	30 箇所	30 箇所
不明水対策	・流量調査（地区未定） ・不明水対策関連補修（地区未定）	・流量調査（地区未定） ・不明水対策関連補修（地区未定）	・流量調査（地区未定） ・不明水対策関連補修（地区未定）	・流量調査（地区未定） ・不明水対策関連補修（地区未定）	・流量調査（地区未定） ・不明水対策関連補修（地区未定）
人孔蓋穴閉塞対策箇所数	200 箇所	200 箇所	200 箇所	200 箇所	200 箇所
ポンプ場機械修繕	村上第 2 污水中継ポンプ場粗目スクリーン修繕	村上第 2 污水中継ポンプ場細目スクリーン修繕	村上第 2 污水中継ポンプ場汚水流入ゲート修繕	村上第 2 污水中継ポンプ場ポンプ井攪拌機修繕	村上第 2 污水中継ポンプ場揚砂機・沈砂分離機修繕

2-③ 水質規制の指導・監督

取組の目的・内容					
民間事業者などが新たに特定事業場※を設置する場合の除害施設に関する指導や特定事業場の排水の水質について立入調査を行うことで、管渠内への有害物質や油脂類の流入を防止します。 ・立入調査を行い、排水の水質や除害施設の維持管理について指導します。					
年度別実施計画					
取組項目	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度
特定事業場の立入調査	・立入調査 ・調査結果の通知	・立入調査 ・調査結果の通知	・立入調査 ・調査結果の通知	・立入調査 ・調査結果の通知	・立入調査 ・調査結果の通知
年間延べ立入調査回数	12 回	12 回	12 回	12 回	12 回

※特定事業場… 工場・事業場の製造工程等で、排水の水質の規制が必要な施設として法令によって特別に指定された施設（特定施設）を有する工場・事業場

2-④ 未接続の解消

取組の目的・内容

公共下水道が整備された区域内における未接続世帯に接続を促すことにより、河川などの環境保全が図られ、下水道使用料の増収にもつながります。

・未接続世帯への個別訪問・現況調査を行います。

年度別実施計画

取組項目	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度
訪問・調査	実施	実施	実施	実施	実施
訪問・調査件数	300 件	300 件	300 件	300 件	300 件

3 浸水対策の強化

3-① 雨水施設の整備拡充						
取組の目的・内容						
近年、局所的な集中豪雨の多発や都市化の進展に伴う雨水流出量の増加による浸水被害が発生していることから、浸水被害リスク軽減のための対策を進めます。 平成 25 年に発生した台風 26 号による豪雨により、大きな被害がもたらされた八千代1号幹線沿線地域(大和田地区、八千代台北及び八千代台東地区の一部)のほか、道路冠水などが多発する箇所について順次、整備を進めていきます。 ・大和田地区(八千代台北、旧大和田公民館前)雨水排水整備						
年度別実施計画						
取組項目		令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度
大和田地区(八千代台北)雨水排水整備	変更前	整備工事	整備工事	整備工事	整備工事	
	変更後	実施設計	整備工事	整備工事	整備工事	
(変更事由) 令和 7 年度 of 取組内容の変更 擁壁の構造について、新たに設計を行う必要が生じたことから令和 7 年度に実施設計を行うこととしました。						
大和田地区(旧大和田公民館前)雨水排水整備		整備工事				

3-② 雨水施設の維持管理

取組の目的・内容

雨水管渠やマンホールポンプ，調整池の点検・清掃を行い，健全に保つことで大雨による浸水被害などを軽減します。

- ・水路の浚渫作業を実施します。
- ・調整池放流口付近の清掃や調整池内の除草作業を実施します。

年度別実施計画

取組項目		令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度
水路の浚渫作業		高津団地内排水 路の浚渫	八千代 1 号幹線 の浚渫	高津団地内排水 路の浚渫	八千代 1 号幹線 の浚渫	高津団地内排水 路の浚渫
	浚渫作業回数	1 回	1 回	1 回	1 回	1 回
調整池の維持管理		・職員による調整 池の点検・除草 ・業者による調整 池内の清掃・除草	・職員による調整 池の点検・除草 ・業者による調整 池内の清掃・除草	・職員による調整 池の点検・除草 ・業者による調整 池内の清掃・除草	・職員による調整 池の点検・除草 ・業者による調整 池内の清掃・除草	・職員による調整 池の点検・除草 ・業者による調整 池内の清掃・除草
変更後	変更前	職員に よる調 整池の 点検・除 草回数	36回/年	36回/年	36回/年	36回/年
		職員に よる調 整池の 点検回 数	17回/年	17回/年	17回/年	17回/年
		職員に よる調 整池の 除草回 数	70回/年	70回/年	70回/年	70回/年
（変更事由） 令和 7 年度, 8 年度, 9 年度, 10 年度の取組内容の変更 調整池の作業内容について，点検と除草に分けることとし，回数についても見直しを図りました。						
業者による調整池 内の除草箇所数		5箇所	5箇所	5箇所	5箇所	5箇所

3-③ 雨水流出抑制策の推進

取組の目的・内容

近年、局所的な集中豪雨や急速に進む都市化の進展に伴い、雨水排水施設の能力を上回る雨水による内水被害が発生しています。これらの負荷を軽減し、内水被害を減少させるため、開発事業などを進める民間事業者に対して「八千代市雨水流出抑制指針(公共下水道編)」に基づく協議・指導を行い、雨水の流出抑制を図っていきます。

年度別実施計画

取組項目	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
開発行為などを進める民間事業者に対する雨水の流出抑制	協議・指導の実施	協議・指導の実施	協議・指導の実施	協議・指導の実施	協議・指導の実施

3-④ 浸水被害の抑制

取組の目的・内容

八千代1号幹線沿線地域等における大雨による浸水被害を抑制するため、土のうの配布や土のうステーションの管理を行っていきます。

また、八千代1号幹線が警戒水位に達したことを知らせる水位警報装置(サイレン)の鳴動試験等を行っていきます。

年度別実施計画

取組項目	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
土のうステーションの点検	実施	実施	実施	実施	実施
点検回数	6月～11月の間、 毎月1回	6月～11月の間、 毎月1回	6月～11月の間、 毎月1回	6月～11月の間、 毎月1回	6月～11月の間、 毎月1回
水位警報装置の動作試験	実施	実施	実施	実施	実施
動作試験回数	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年

(4) 業務量の見通し

年 度 項 目	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 1 0 年度	令和 1 1 年度
行政区域内人口 (A)	209,705 人	209,877 人	210,094 人	210,267 人	209,863 人
整備区域内人口 (B)	194,648 人	194,850 人	195,093 人	195,296 人	194,963 人
水洗化人口 (C)	193,238 人	193,495 人	193,793 人	194,051 人	193,776 人
普及率 (B/A)	92.8%	92.8%	92.9%	92.9%	92.9%
水洗化率 (C/B)	99.3%	99.3%	99.3%	99.4%	99.4%
年間総有収水量	17,443,615 m ³	17,655,106 m ³	17,771,457 m ³	17,890,316 m ³	17,981,518 m ³

(5) 財政収支の見通し（投資・財政計画）

①収益的収支

(単位：千円 消費税抜き)

年 度 項 目	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 1 0 年度	令和 1 1 年度
収 入 (A)	3,615,637	3,666,705	3,676,768	3,647,179	3,649,633
うち下水道使用料	2,182,609	2,207,505	2,221,972	2,236,897	2,248,794
支 出 (B)	3,716,384	3,880,763	3,843,101	3,725,440	3,702,312
純利益／損失 (A－B)	△100,747	△214,058	△166,333	△78,261	△52,679

②資本的収支

(単位：千円 消費税込み)

年 度 項 目	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 1 0 年度	令和 1 1 年度
収 入 (A)	755,218	376,073	504,259	734,884	598,298
うち企業債	624,300	162,000	246,200	491,900	361,400
うち国庫補助金	13,670	65,001	76,901	79,639	77,845
支 出 (B)	1,691,416	1,213,493	1,309,165	1,515,747	1,344,907
うち建設改良費	1,121,695	650,515	730,928	973,181	803,316
資本的収支不足額 (A－B)	△936,198	△837,420	△804,906	△780,863	△746,609

③企業債残高

(単位：千円)

年 度 項 目	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 1 0 年度	令和 1 1 年度
年度末企業債残高	7,791,002	7,490,025	7,257,989	7,307,324	7,227,134

④資金残高

(単位：千円)

年 度 項 目	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 1 0 年度	令和 1 1 年度
年度末保有資金残高	1,769,055	1,635,989	1,570,146	1,611,055	1,668,367

※令和 7 年度は繰越事業を考慮した数値

**第2次八千代市公共下水道事業経営戦略
実施計画
【令和7年度版】**

発行日	令和7年3月
発 行	八千代市上下水道局
編 集	八千代市上下水道局 経営企画課
所在地	八千代市大和田新田 312-5
電 話	047-483-6572（直通）